

仕上がりの美しさを見れば、技術がわかる



終戦直後、目標も定まらない若い時分。東京・世田谷区でクリーニング店を手伝わないかという話があり、そのハイカラな名前に惹かれるようにして上京しました。まったくの素人だったので、住み込みの見習い生活は、朝6時頃から夜の11時頃まで。配達やネーム貼り、洗いと、なんでもやって仕事を覚えました。アイロンがけは親方から“仕事は見て覚えるもの。人の技術は盗ん

で覚えるもの”と教わり、雑用をしながら、親方や先輩のやり方をまね、アイロンがけをこなすようになりました。クリーニング業は、昔からアイロンがけの良し悪しで技術のレベルがわかります。高い技術を持っていれば、自然とお客様のほうからお店にやってきます。生活に密着しているだけに、^{すた}廃れないのもこの職業の強み。洋服を通して人をきれいにする誇れる仕事です。



プロフィール **村松 東洋男** むらまつ とよお

クリーニング業 55年

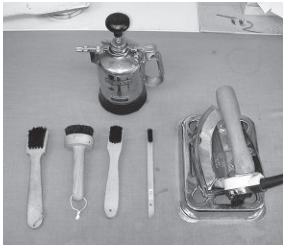
愛知県出身。74歳。8人兄弟の次男として生まれ、19歳の頃、東京でクリーニング店を営む知り合いから誘われ上京。見習いとして同店で13年間修行し、昭和44年春に現在地(川崎市高津区)で独立する。アイロンがけの技術の高さから、多くの得意先を持つ。神奈川県クリーニング生活衛生同業組合川崎北支部連合会会長。

大和クリーニング

〒213-0026 川崎市高津区久末1894 ハイヴリッジ1F
TEL.044-766-3987 FAX.044-766-3987

活躍の場

クリーニング店
ホテル



仕事道具3種

- 【アイロン】 通常のアイロンと蒸気(スチーム)が出るアイロンの2種類がある(写真右下)。
- 【シミ抜き用のブラシ】 生地の下に受け皿用のブラシを置き、上から叩くようにしてシミを取る(写真左下)。
- 【噴霧器】 ワイシャツにはこちらを使う。生地の材質によって蒸気の量を加減する(写真上)。



職人からのメッセージ

● クリーニング業という仕事内容

洋服やワイシャツなどの油汚れやシミをきれいに洗い、アイロンがけで仕上げます。機械で洗いやプレスを行い、安く仕上げのお店もありますが、機械では行えない細かい部分の仕上げは、今でも手作業のアイロンがけで行います。



● クリーニング業という仕事の展望

現在クリーニング業は、二極化に分かれています。機械化によって、安い価格設定でお客様を増やすお店。かたや手仕事の良さを武器に、地域に密着し、お客様を増やすお店です。どちらも地域密着型の業種なので、安定しています。お客様に喜んでもらえるのも、この仕事の良さです。

必要資格

クリーニング師資格試験があります。『クリーニング業法』に基づいてアイロンがけ、シミ抜きなどを行う者です。クリーニング店に、必ず一人置かなければならないことになっています。

● 一人前になるまで

袖・襟などの微妙なカッティング部分は、手作業でなければ美しく仕上がりにません。このアイロンがけが、一人前にできるようになるには10年はかかります。

この仕事に向いている人

ワイシャツの仕上がりにこだわって、わざわざうちの店に来るお客様がいます。他店で取れなかったシミをきれいにしあげたら、お客様になった主婦の方もいます。すべては、相手の要望を聞いてあげたことがリピート※につながりました。その点では、学ぶことの好きで、話し上手・聞き上手な人が向いています。

※リピート＝繰り返し。反復。ここでは、再び来店すること。

クリーニング業を目指す方へのアドバイス

クリーニング師の資格試験の中には、綿のワイシャツを8分できれいに仕上げる実技があります。一見単純そうに見える簡単な仕事のように見えますが、きっちりとアイロンをかけるにも、生地の性質や温度の違い、蒸気のあて方は経験を積まなくてはわからない部分があります。学ぶことは多いので、やりがいもあると思います。